

第1学年 国語科 年間学習計画

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学 期	4	はるがきた おはなしききたいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいいうえお	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
		〈絵を見たり読み聞かせを聞いたりして、気づいたこと思ったことを話したり聞いたりする〉 〈読み聞かせを聞き、話の筋をつかんだり様子を想像したりする〉 〈場面にあったあいさつや話す内容を考えて使うことができる〉 〈姿勢や筆記具の持ち方を正しく書く〉 〈ていねいな言葉と普通の言葉の違いに気をつけて使う〉 〈学校内を探検し、見つけたことを工夫して伝え合う〉 〈母音を基本とした言葉遊びを通して、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す〉	
		5 こえにだしてようもう よくきいて、はなそう ことばをさがそう はなのみち としょかんへいこう かきとかぎ ばんをつくらう ねこと ねっこ	
		〈語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読する〉 〈友だちと好きな遊びを聞き合い、聞いたことを知らせる〉 〈「あ い う え お」ではじまる言葉を集めたり書いたりして語彙を増やす〉 〈語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する〉 〈図書室で興味のある本を探して読み、読書に親しむ〉 〈濁音と清音の違いを理解し、濁音のひらがなを正しく読み書きする〉 〈句読点の打ち方、主語と述語の文型を理解し、正しく文を書く〉 〈促音と半濁音が分かり、正しく読み書きする〉	
	6	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいいうえおであそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ	
		〈自分の気持ちと、その理由を説明する話したかを理解する〉 〈長音の書き表し方に注意して、ひらがなの長音を正しく読み書きする〉 〈「あいいうえおで遊ぶ」を言葉の意味を考え正しい発音で読み、五十音表の仕組みを理解する〉 〈花やつぼみについてまとまりごとに絵や写真と結びつけ、正しく読み取る〉 〈拗音の書き表し方に注意して、ひらがなの拗音を正しく読み書きする〉 〈観察したことを書く絵日記の書き方を理解し、絵日記を書くこととする〉 〈物語の言葉のくり返しやリズムのおもしろさを味わい、音読や動作化をする〉	
		7 はをへをつかおう すきなこと、なあに おむすびころりん こんなことがあったよ としょかんとなかよし	
		〈助詞「は・を・へ」の使い方がわかり、正しく音読したり、使ったりした文を書く〉 〈自分の「すきなもの」の理由を話したり、はっきりさせた文章を書いたりする〉 〈昔話の伝統的な言語文化に親しみ、場面を想像しながらリズムや響きを楽しむ〉 〈絵日記の書き方を理解し、したことを思い出して絵日記を書く〉 〈学校図書館で興味のある本を探して読み、読書に親しむ〉	
2 学 期	9	こえをあわせてようもう みんなにいらせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
		〈語のまとまりや言葉のリズムなどに気をつけて音読する〉 〈友だちが夏休みにしたことを、様子を思いうかべながら聞く〉 〈「ことばあそび」を楽しみながら、語彙を豊かにする〉 〈お話を楽しく読み、登場人物になったつもりで音読する〉 〈片仮名の表記を理解し、正しく読み書きする〉 〈文章と写真を結びつけながら、何が、どこに、どのように隠れているか、読み取る〉 〈漢数字を正しく読み書きしたり、身近なものの数え方を知り、正しく数えたりする〉	
		10 くじらくも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字の はなし ことばをたのしもう	
		〈助詞「は・を・へ」の使い方を理解して、正しく直している〉 〈知らせたいこと見せたいことをよく観察して、相手に分かるように文章を書く〉 〈漢字のそれぞれのでき方を理解して、意味を考えて漢字を正しく使う〉 〈文字と言葉の関係を理解し、言葉遊びを楽しむ〉	
	11	じどう車くらべ じどう車ずかんを つくらう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな ともだちのこと、しらせよう たぬきの糸車	
		自動車毎に「しごと」「つくり」を結びつけ内容を正確に理解し、読み取る。 〈いろいろな自動車について学習したことをもとに図鑑をつくる〉 〈片仮名の表記を理解し、正しく読んだり書いたりする〉 〈動物になったつもりで友達と話してお話をつくり、お話を交流する〉 〈友だちに聞いたことを文章に書き、みんなにわかりやすく知らせる〉 〈登場人物や場面を想像しながら、物語を楽しく読む〉	
		12 日づけよう日 てがみでしらせよう むかしばなしをよもう／おかゆのおなべ	
		〈日付の歌をくり返し読み、日付と曜日の言い方を理解する〉 〈相手のことを思いうかべながら、知らせたいことを手紙に書く〉 〈昔話を読んで、お話カードに書き、みんなに紹介する〉	
3 学 期	1	なりきってようもう くわしく きこう ことばであそぼう どうぶつの赤ちゃん ものの名まえ	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
		〈語のまとまりや言葉の響きを工夫して、詩を読んだりして親しむ〉 〈友だちと好きなお話のことを話したり、感想を交流する〉 〈もとの言葉に字を加えたりして変身させ遊びをとおして語彙を増やす〉 〈動物の赤ちゃんについて、違いをくらべながら情報を整理する〉 〈物の名前を集めて、お店屋さんごっこをする〉	
		2 わらしべちょうじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう	
		〈登場人物や場面を想像しながら、昔話を楽しく読む〉 〈形のにている片仮名や間違えやすい片仮名を調べ、正しく使うことができる〉 〈言葉の中に言葉を見つけた言葉が隠れている文を作ったりして言葉遊びを楽しむ〉 〈相手によく分かるようにはっきりと話したり質問したりする〉	
	3	ずうっと、ずっと、大すぎだよ にているかん字 いいこといっぱい、一年生	
		〈物語を読んで行動や気持ちを想像しながら読んだり話したりする〉 〈形が似ている漢字を気をつけて正しく読み書きする〉 〈入学してから一年間にあったことを思い出して、わかりやすく文章に書く〉	